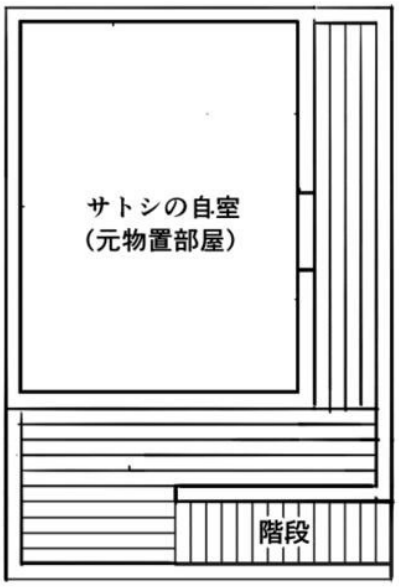
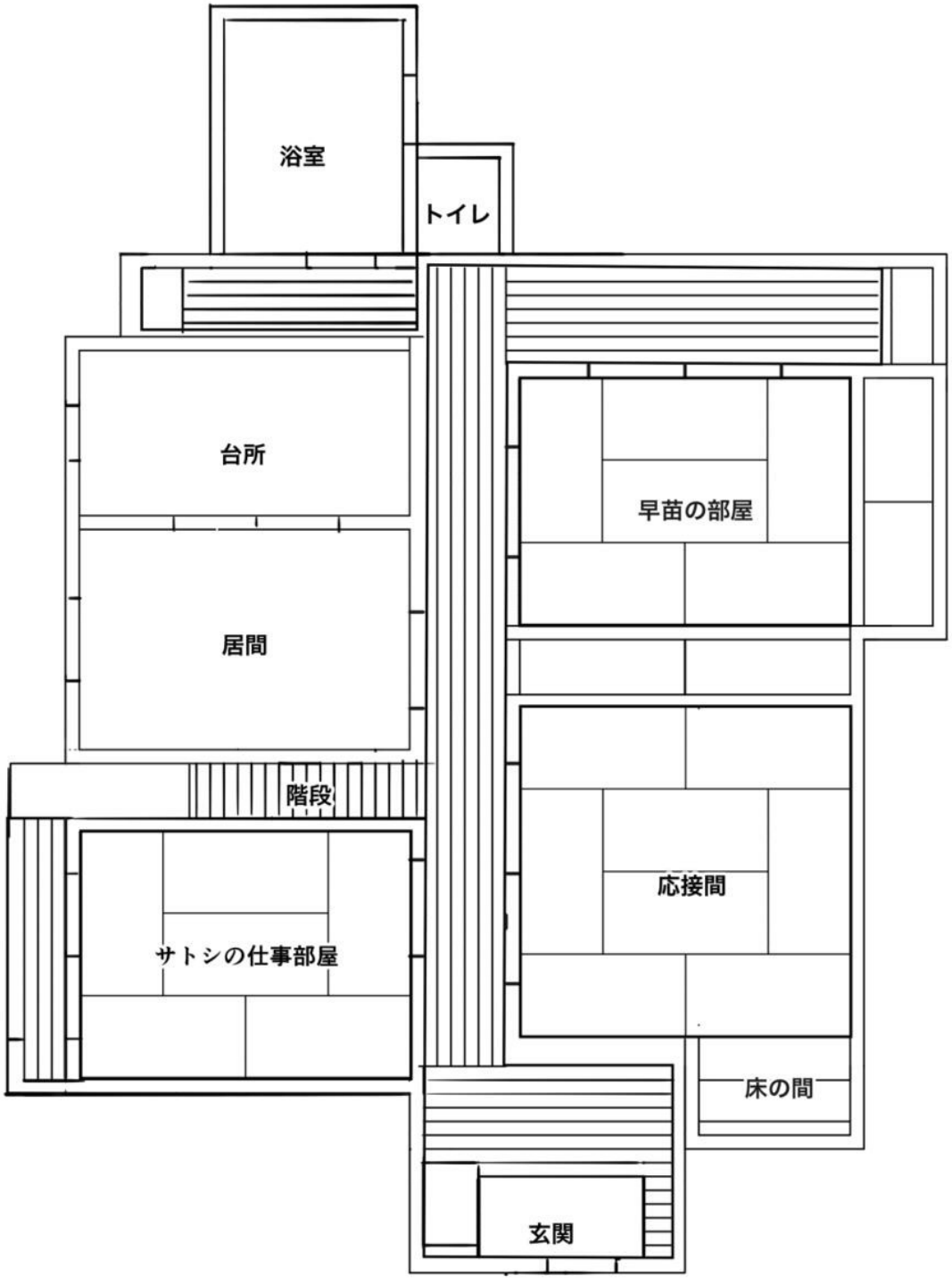
母に恋して
特別編3
―母と息子の新しい日常―
大空カイコ

本谷家　自宅の間取り

2階



1階



浴室の彼女

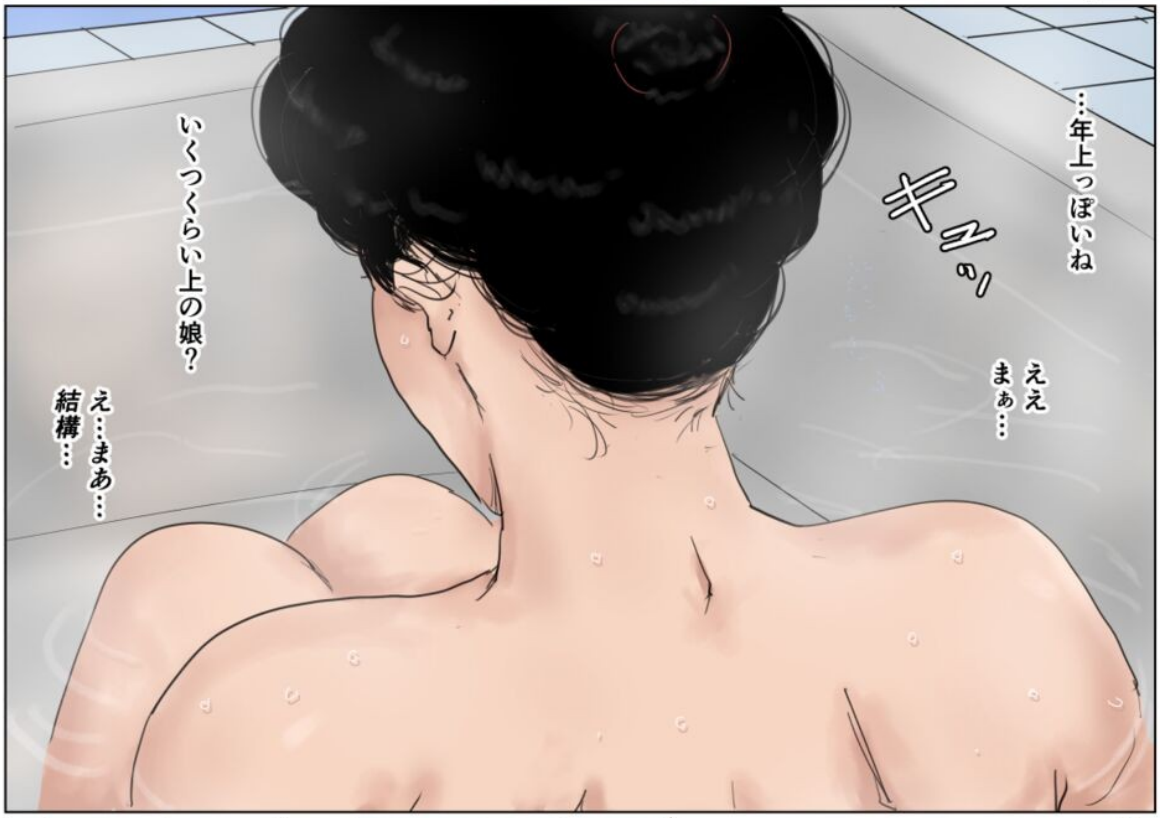
母に恋して

じゃあそういうことでよろしくね
はいわかりました
サトシーっまだなの～？
ビクッ

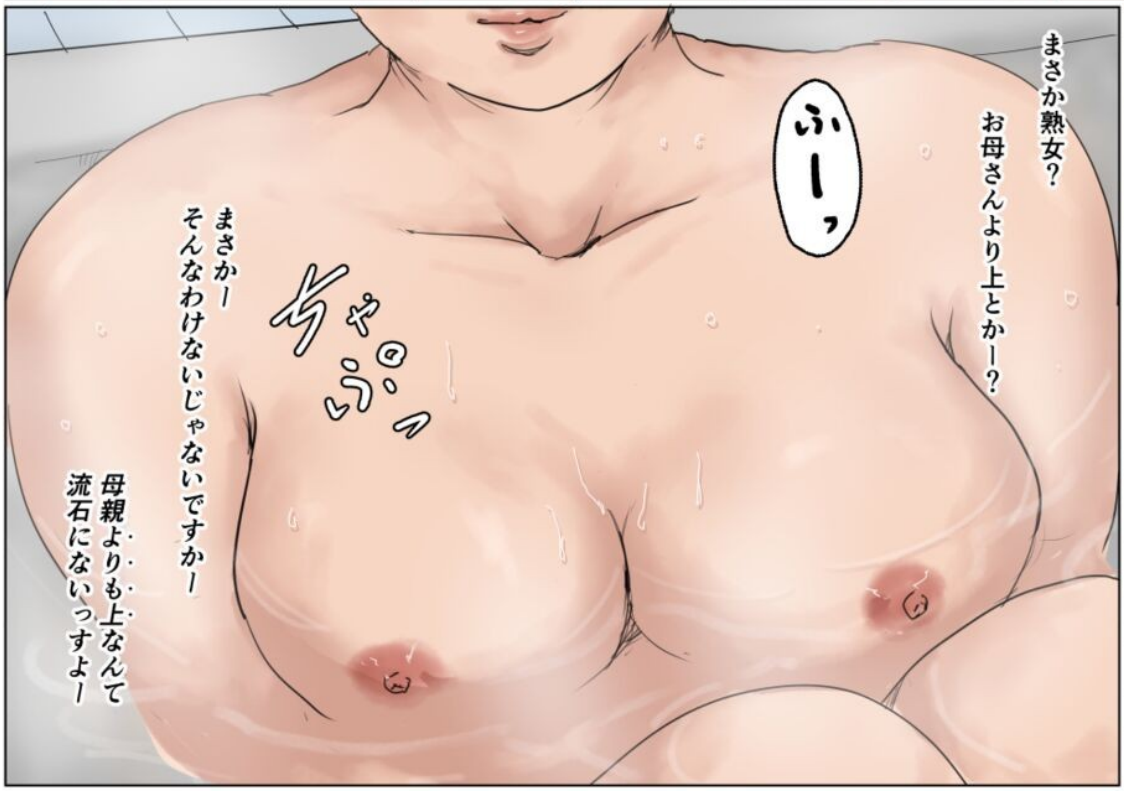
……
一緒に入るんでしょ～ッ？

いやいやいやッ
そんなわけないじゃないですか～ッ
彼女っす彼女っす
ズブッ
そりゃそうか
でもそこ実家なんでしょ？
いや…いま親が留守にしてまして…
彼女うちに遊びに来てるんすよー

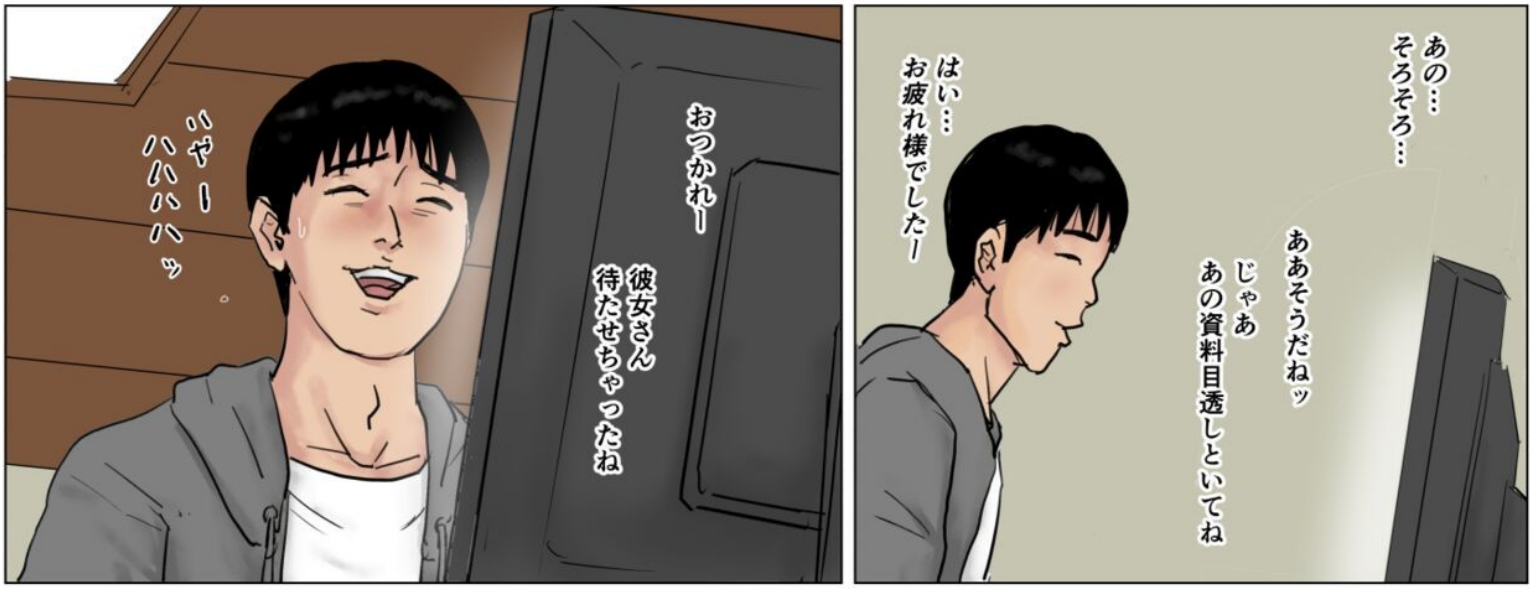
一緒にって…風呂に？
でも今のって…
お母さんじゃ…？


…年上っぽいね
キュッ
ええ
まぁ…
いくつくらい上の娘？
え…まあ…
結構…

いつまで待たせるのー
のぼせちゃうわよー


まさか熟女？
お母さんより上とかー？
ふーっ
ちゃぷっ
まさかー
そんなわけないじゃないですかー
母親よりも上なんて
流石にないっすよー

ねー
聞こえてるのー？
返事しなさーい



あんなでかい声で
呼ぶなって！
やばかったんだぞ

知らなかったのよー
それにサトシが一緒に入るって
言ってたから呼んだんじゃない

そりゃそうだけど…

こんなご時世ですので息子の会社も
リモートワークが導入されたそうで
頻繁にこっちに
帰ってくるようになった息子

こちらにいる間は空いていた部屋を
仕事場として使って
毎日パソコンに向かってお仕事を
がんばっているようです

普段はお互いに気ままな一人暮らしを
しているもので…
些細なことで衝突してしまうこともあるのですが…

ザブッ
ちゅ。
ちゅっ
お母さんも悪かったわ…
んっ
ちゅっ
ごめん…言い過ぎた
母子(おやこ)二人なんとか上手くやっています
ちゃぷ。ふ。

お恥ずかしい話ですが、わたし達母子は
思いがけず訪れた水入らずの時間の多くを
こうして情欲に溺れて過ごしています…
母さん
またおっぱいデカくなったんじゃねぇ？
ちゅっ
ちゅぱっ
ぢゅーっ
そんなことないわよー
はぁ、
あんっ
こらっ
ぢゅぱ、ぢゅぱ、ぢゅぱ
おっぱ
ンんっ
自粛生活…おうち時間……世間が大変な状況にある中
申し訳ない気もするのですが…
ザパァッ

家から出るなと言われているのだから仕方がない…

人と会えないのだから仕方がない…

仕事のストレスを吐き出したい…

「家族間の濃厚接触は国も認めているんだ」などとふざけたことも言ってたこともありましたっけ

いつしかそんな言い訳めいた理由付けもすることなくなり
わたし達は毎日当たり前のように行為におよぶように…
うんやべぇ
やっぱ母さんフェラ上手いわ
おしっ
ディッ
あぁ
気持ちイイの？
立派になってきたわね
グポッ
グポッ
グッポッ
ん
む
ジュポッ
ぐっ
ジュッ
ジュッ
ジュッ
ジュッポッ
ギュポッ

ぱちゅっ
ぱちゅっ
いいよ母さんッ
ほっ
へへっ
ほっ
ほっ
ヒタッ
ちょっとサトシっ
そんなに速くしたら
滑っちゃうわよ
お一気持ちイイ
ヒタッ
とにかくこれが我が家の新しい日常なんです…ええ
キュッ
キュッ
キュッ
ヒタッ
ヒタッ
あんっ♥

ズンッ
グボッ
ズンッ
グボォ
サトシっ
危ないでしょ
もっとゆっくりよ
ね？
キャッ
こらっ
もう
おちんちん
はっ
ふっ
はっ
母さんっ
そっ
ま、
ま、
ま、
ちんちん♥
ズンッ
グボッ
ズンッ
グボォ

もっとぉ
もっとぉ♥
母親が息子にそんな事
お願いしていいの？
キ…
ちっ
スゴいィッ
あっ
はんっ♥
だめよッ
だめなのよッ
こんなことぉ
ダメぇダメぇ
あぁん♥
ズンズンズンズン
ズンズンズンズン

ほらッ
お母さん
こうやってるからッ
奥までしっかり突いてちょうだいッ
お、
お、
お、
お、
スゴい、
そこそこ、
お、
イッイッドッ
ズチュッ
ビダンッ
ズチュッ
ビダンッ
ズチュッ
ビダンッ
ズチュッ
ビダンッ
はっ
はっ
はっ
はっ
ままま

お母さんもぉイッちゃうわね
キッスゴイッ
キちゃうキちゃうッ
オレもッイクイクイクイクゥッ
ビクンッビクンッビクンッビクンッビュッビュッビュッビュッ

母さん…良かった？
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ん…
ええ
ステキだったわ
はぁ
このまま
もう一発…どう？
続きはおふろ上がってからね
えー
わたし達母子の新しい日常は
相変わらずこんな調子で過ぎていっています

良いお湯だったわね

友人が来てるのに

母に恋して

ぢゅぱっ
ぢゅぱっ
ぢゅぱっ

ダッダッ
ビンッビンッ
じっ
イッちゃ
あ、あ、
はんっ♡
ビンッビンッ
ビンッビンッ
あんっ
あっ
あっ
ビンッビンッ
あっ
あああっ
いやっ
ビンッビンッ
ああっ
じゅぱぱぱ

イッたの？
母さん
よいしょと
はあ
ん。
はあ
はあ
上手ねサトシ
お母さん
またイッちゃったわ…
パタ
パタ
パタ
フーッ
パタパタパタパタ

次は舐めっこしようぜ
パタパタ
ええ…いいわよ
はーっ
ムッ
じっ
フォォ
グッ
ぐっ
んっ
むっ
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ

カポッ
カポッ
カポッ
ペチャ
ペチャ
ペチャ
ぶるるるるっ
ゴプゥ
おっ
スゲェ
んっ
んっ
むぐ
フー
フー
しゅ
しゅ
クチュッ

あっ
やっ
じゅぶ
じゅぶ
じゅぶ
じゅぶ
んっ
ジュボッ
ジュボッ
ジュボッ
ジュボッ
ううぅー
イッ
イッ
イッ
お
お
そ
ビクッ
ビクッ
イッ
まんこ
ビクッ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

そろそろ挿れよっか？
あっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
じゃあ
いくぞ母さん
いいわ
いらっしゃい
はあっ
はあっ
ええ…
そうね
っレヤ
がった〜いッと
ん♡
クチュッ

♪テンテレテン テンテレテン
ヴーーーッ

ヴーッ
ヴーーッ

……

テンテレテン♫
ヴーーッ♪

……

出てあげたら？
きっとお友達でしょ

ヴーッ♪
ヴーッ
ヴーッ

うん…
多分…

…ッたく
なんだよー

ヴーッ

ヴー♪

おう…
なに？

え…今どこ？

えッ!?
もう家まで来てるぅ!?

やばいやばいッ
あいつらもう来ちゃった

えッ?!
夕方に
来るんじゃないの!?

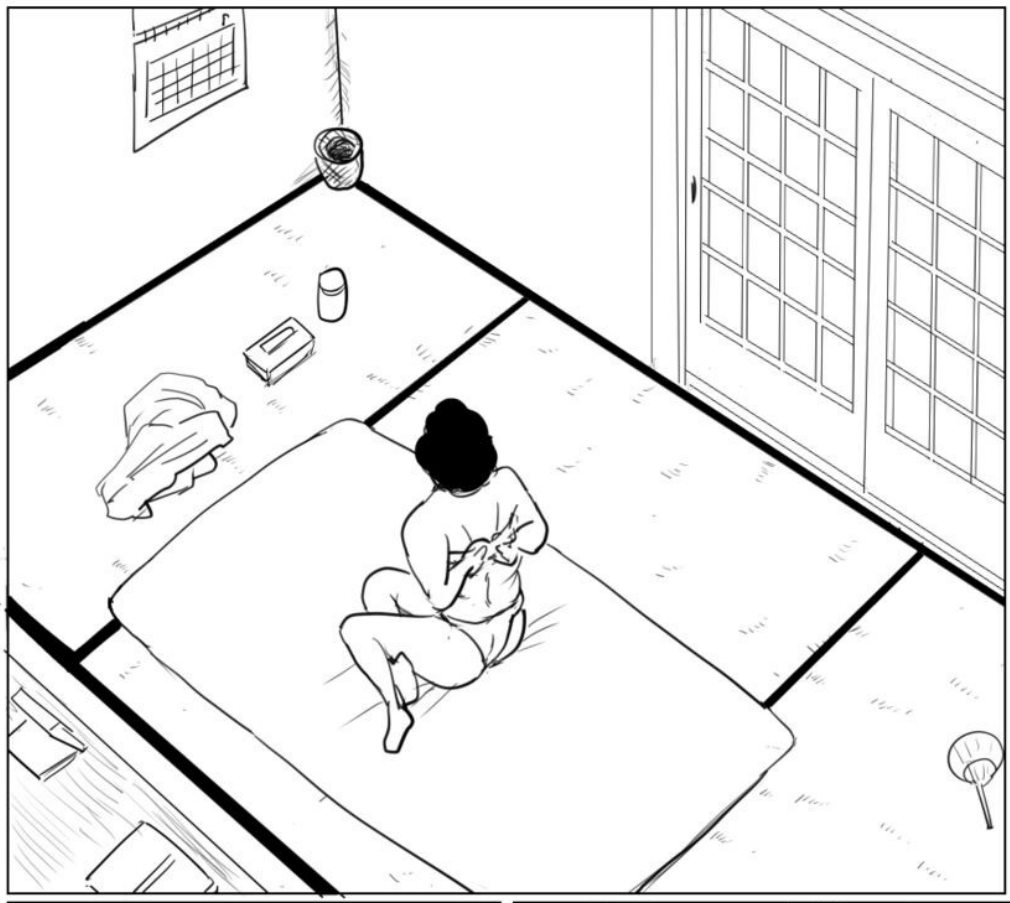
グイッ

サッ

ヒマだから
うちで時間潰すんだって

お夕飯
食べに行くんでしょ？

こっち来ちゃだめよッ
うん
わかってる
スパーン
Gold
Bad
ドタドタドタドタドタ
ガラッ
よっ
ういーっす
ごいっ
しょっ
おじゃましまーす
はーい
いらっしゃ〜い

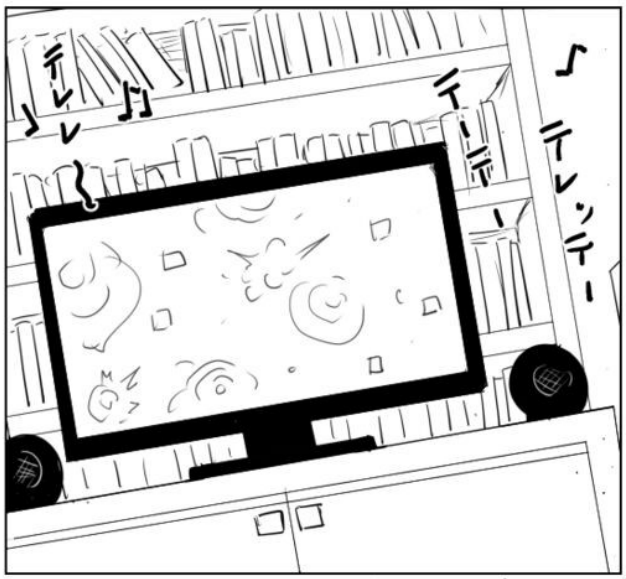


ギッ
久しぶりじゃのサトシん家入るの
ギッ
そうじゃのぉ
ギッ

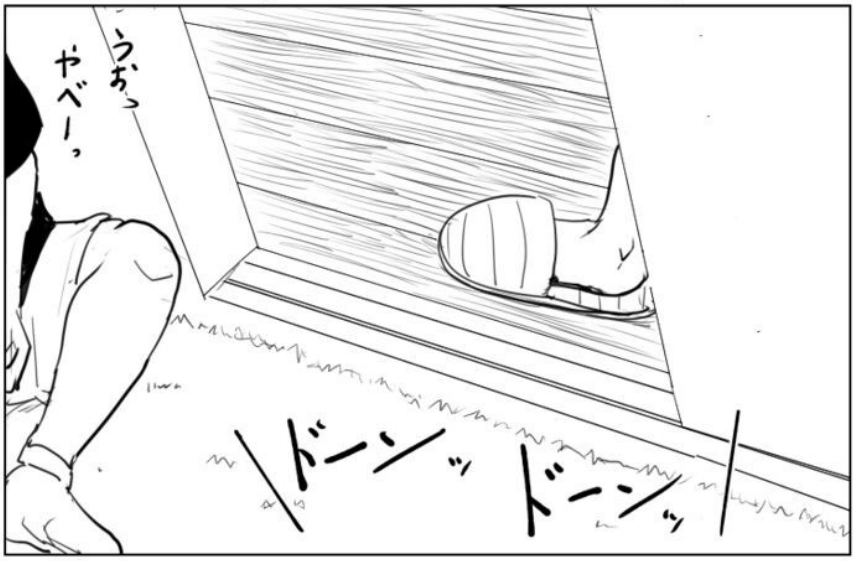
……

はー、

フーッ

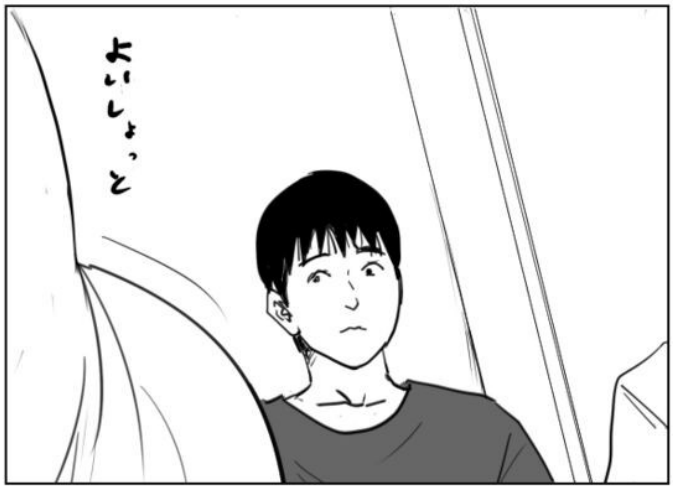

♪テレレ〜♪
テレンテー

カチッ
カチ


うおっ
やべー
ドーンッドーンッ

前ごめんね
二人とも
ジュースでよかった?
あーはい
すみませーん

みんな
お茶どうぞ〜


よいしょっと

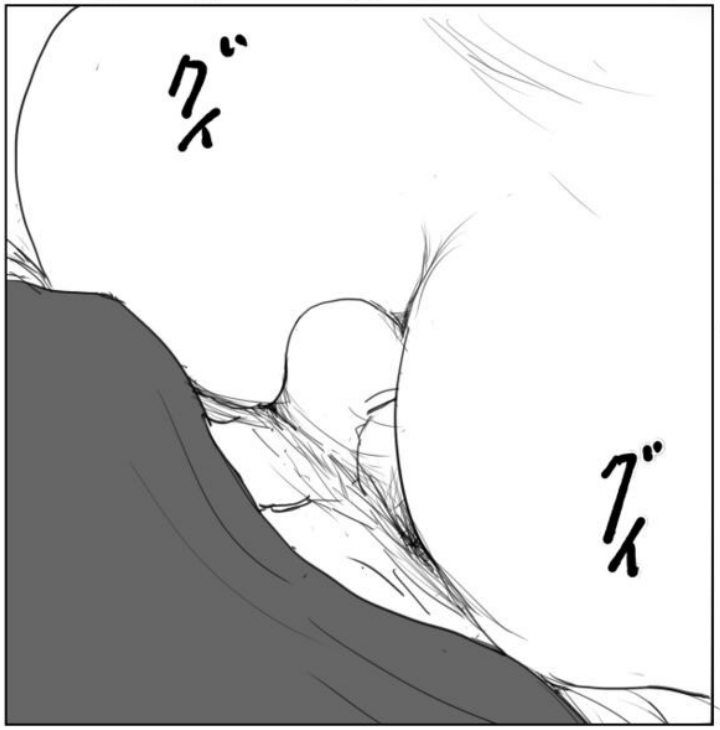
ジーーーッ
……
コトッ
スッ
じゃあ
ゆっくりしていって
ちょうだいねッ
くるっ
あ
ちょっと待って
これ4人で出来るから
母さんも入ってよ
え…
ゲーム？
大丈夫だって
俺が教えるから
え…
うーん

チャッチャラ～♪
チャラ～♪
そこで右下のボタン押して
こう？
カチッ
カチ
カチ
ほら早く攻撃してッ
えッ!?どれ？どれ？
ポーン
テレッテーテテン♪
フラフッ
ダメだわ

よいしょっ
ほら
こうやるんだって
攻撃をジャンプして
避けてっと
ぐっ
ズッ
……
……ッ!?
ばかッ…
何考えてんのサトシっ…

……
いえーい
おっしゃーッ
あー
おばさんまた
失敗しちゃったわ
チャッチャッラ～♪
♫チャチャチャ～♪

ボン
おーイイッ


グィ
グィ

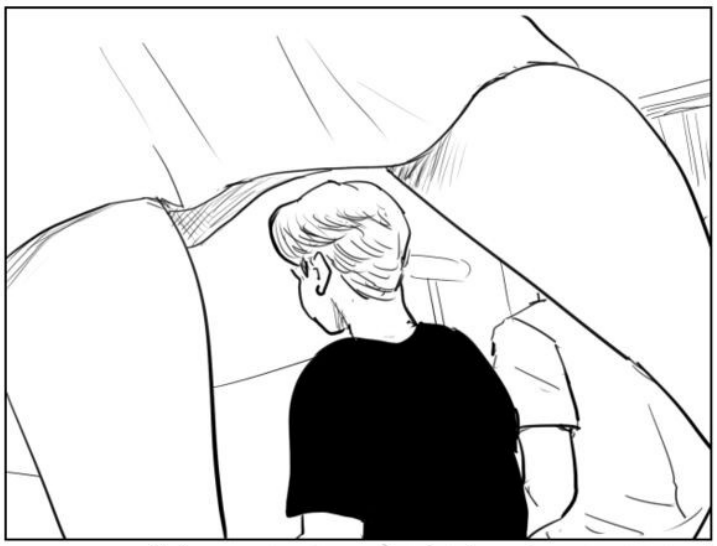
みんな上手ねぇ

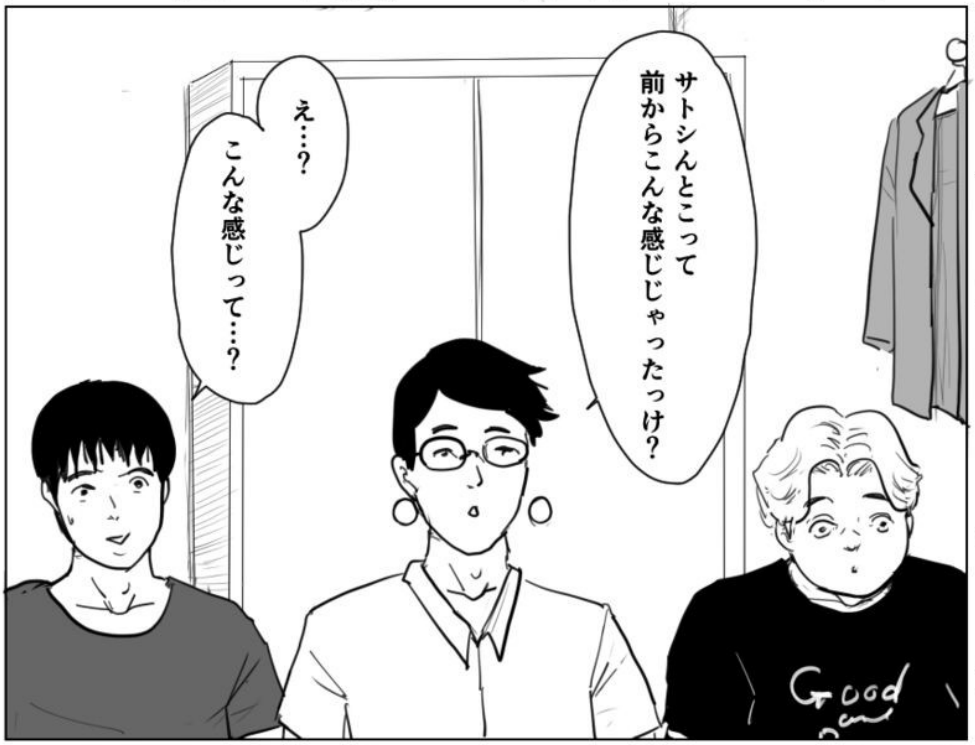
これでいいのね？
ふーーっ
そうそう
いい感じいい感じ
ああ…もぉ…この子は…
カキ
カキ

サトシぃ
動いちゃだめ
でしょッ
そわっ

ああ…こんなに固くしてぇ
そんなにシたいのね…
ムリ…
ああ…本当なら今頃
これがわたしの膣内に……
ムリッ

ああ…
この子たちがいるのに…
わたしまで変な気に…
ジュッ
じじじっ
あ…だめッ…
わたしったら…
…あッ♡
んッ…♡
……ッ♡
ふーっ
……？
さっきの部屋に戻ってるわね…
ぼそっ
え……？
あ…うん…





いやー…
別に普通じゃって…
ははは

ちょいトイレな
おう
……
ダッ
あの子たち本当に大丈夫？
はあ
ペチ
あっ
うん大丈夫大丈夫すぐ済ませば平気だって
そうよねぇすぐに戻れば平気よね？
レロ
そんなにヤりたかったんだ？
あっ
そうなの…ああ…こんなことだめなのに

んっ
ちゃっ
んっ
ちゃっ
んっ
ちゃっ

はあ
ちゃっ
ちゃぱっ
ちゃっちゃっ
はあ
はあ
スルッ
スルッ

んじゃ
ちゃっちゃと
ヤッちゃおうか
ええ
そうねっ…

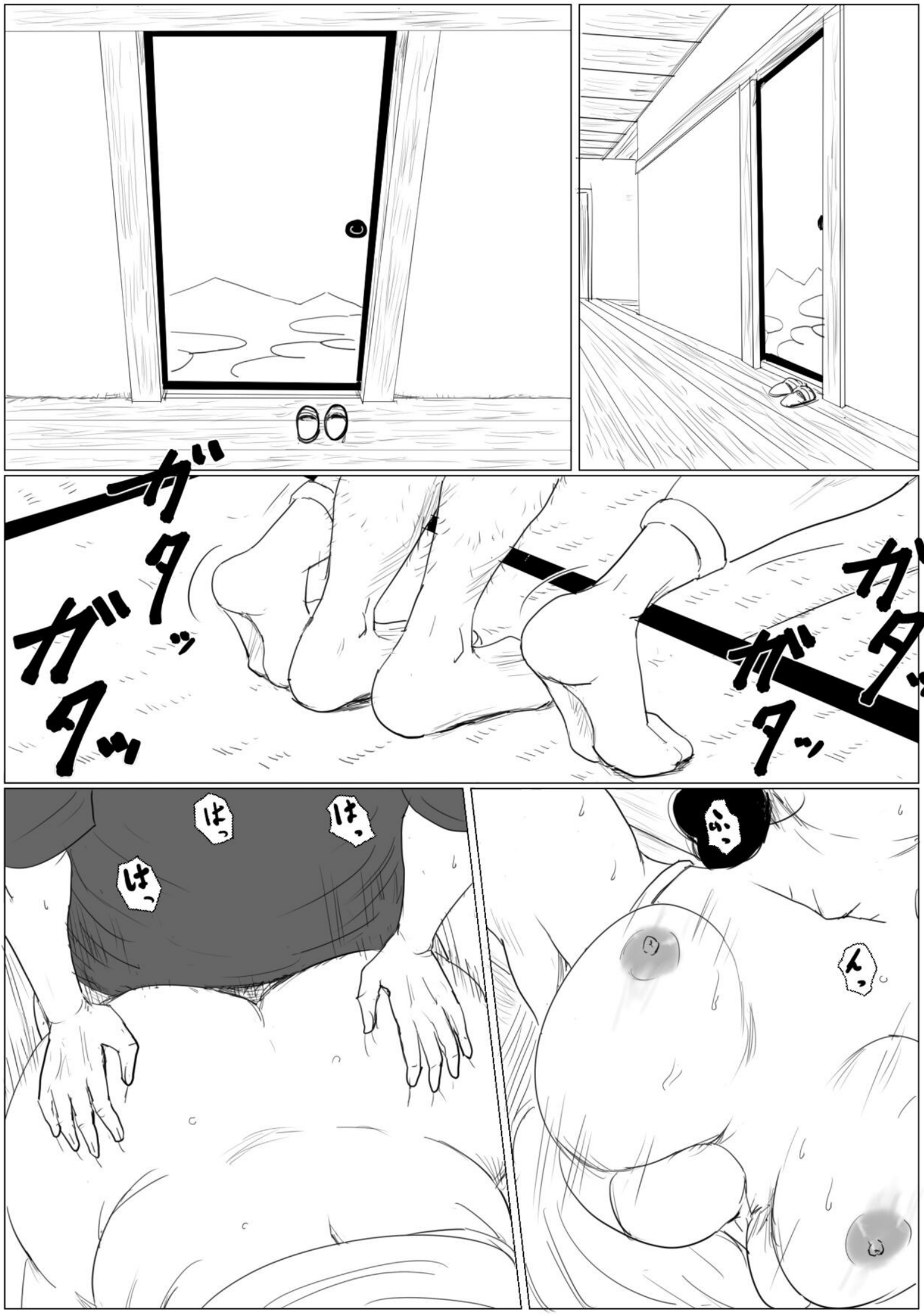
もうヌルヌルじゃん
はは…
はあ
よ〜し
すぐ挿れちゃうぞ
母さん
はあ
はあ
ああ…わたし達
本当にシちゃうのね…
イケナイのよ…
はあ

んっ

くちゅっ
ぐぐっ
よっと

あっ…
おー
入ったー
カチ
カチ
カチ
Good
Bad

ヌプッ
あンッ


ガタッ
ガタッ
ガタッ
ガタッ
はっ
はっ
はっ
ふっ
ん

ふっ
ふっ
ふっ
ガタッ
ガタッ
ガタッ
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ごめんね二人とも…
おばさん
サトシのこと借りちゃって…
フーッ
フーッ
ガタッ
ガタッ
済んだらすぐ戻らせるから
堪忍してちょうだいね

ズンッ
ズンッ
はっ
へっ
はっ
へっ
あっ
あっ
イヤッ
うっ
うっ
パチュッ
パチュッ
パチュッ
はっ
ヌボッ
ヌボッ
グボッ
！
ミシッ

ミシッ
ミシッ
ミシッ

はあ
はあ
……っぽいなぁ
……
降りてきたんじゃないの？

ミシッ
ミシッ
ミシッ
……

なにしてんのッ
早く離れなさい
下手に動かないほうが
いいって

ペタッ
ペタッ
トントン
大丈夫だって
多分トイレだろ
それに人ん家なんだから
勝手に開けたりしないって
でも…もしかしたら
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅーっ
ちゃっ
ヒクヒク
タラーッ
ペタッ
ペタッ

チラッ
ペタッ
ペタッ
ペタッ
ペタッ
ペタッ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
おーい
サトシぃ
まだかぁ〜
コンコン
ガチャッ
なんじゃ
空いとるんか

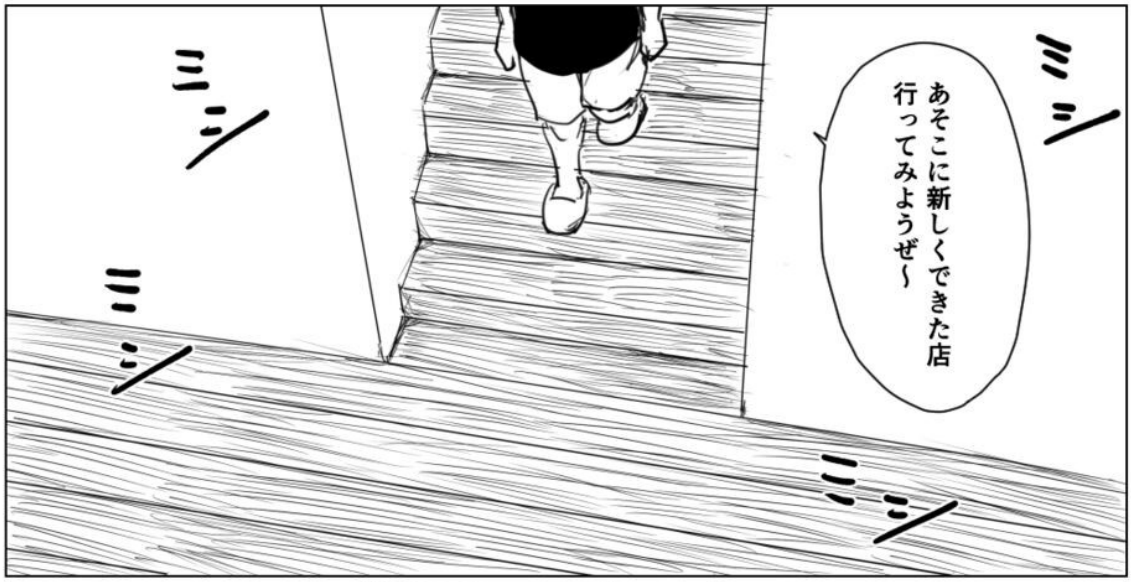
バダムッ
ぐっ
ちょっと…
だめでしょッ…
ヒタッ
ヒタッ
ヒタッ
ガバッ
……ッ?!
待ちなさいッ…
ねぇ
サトシぃッ…
ズッ
ズッ
ズッ
ケヒッ
おっ
ん、
このまま射精(だ)しちゃうのね?

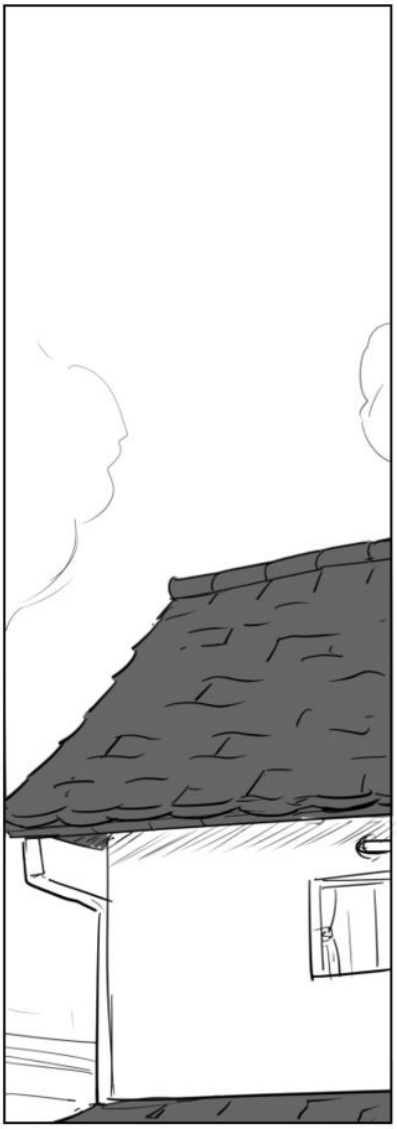
激しすぎるわよッ
はっ
はっ
はっ
ああ～ッ
気持ちイイぃぃ
聞こえちゃうでしょッ
んっ
んっ
ああ…もぉッだめぇっ
お母さんもぉッ……
グボッ
グボッ
あ…あああッ
イクイクイク
イクぅぅぅッ
おっ

おぉ
出る出る出るッ
ビュクッ
あぁンッ
イクぅぅッ
きもち
母さんっ
うおっ
ビュルルッ
お♡
ビクビク
イッちゃうぅぅぅンッ

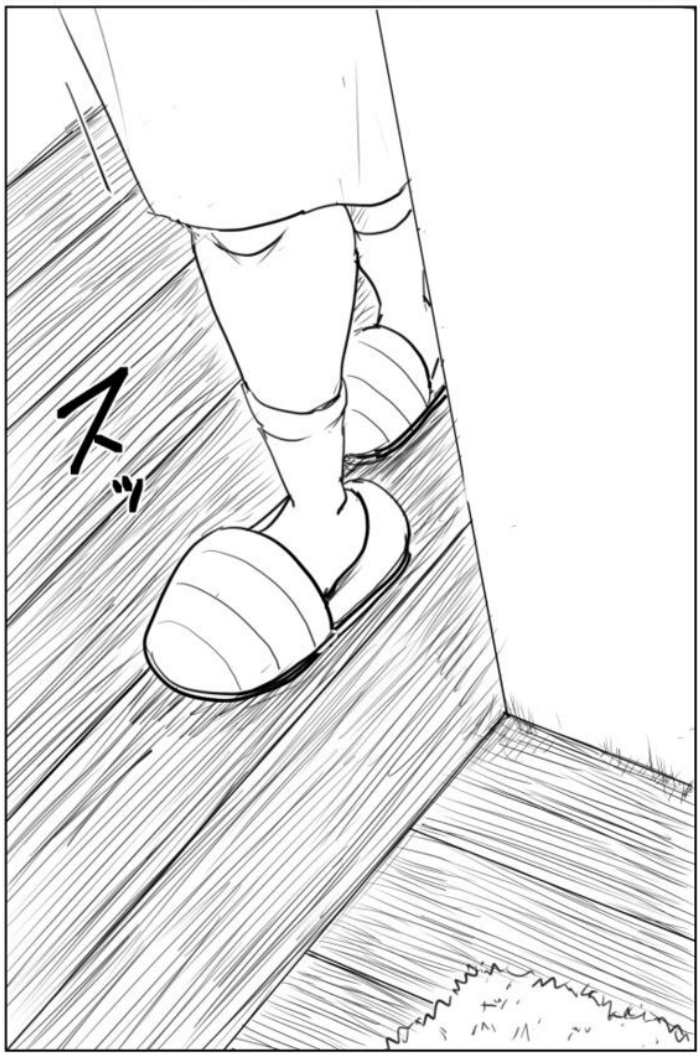
ビクンッ
ビクビクッ
ンおおっ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ビュルッ
おは
トクンッ
トクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
おっ
おっ
おっ
ガクッ
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ

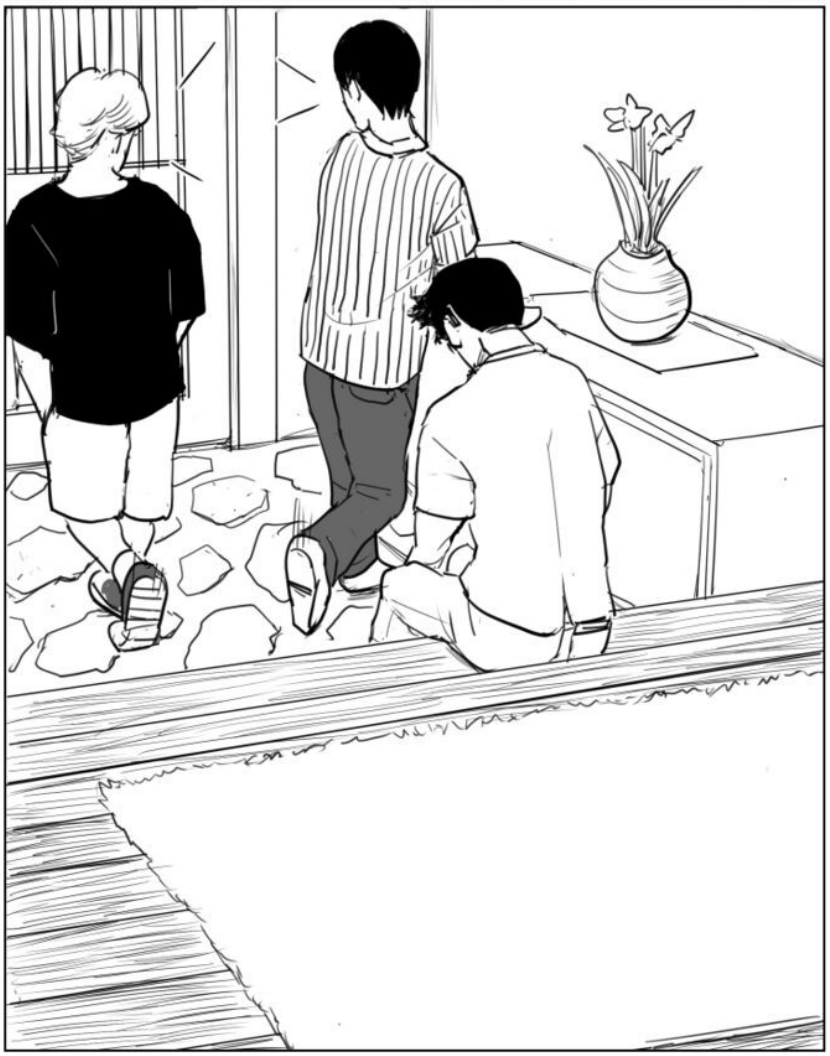
ガチャ
チャン
あ
おったおった
おう
ぉっ
ぉっ
ぉっ
ぉっ
ピクンッ
なにしよるんじゃー？
トイレ終わったなら
言うてくれよ
いやー
わるいわるい
はははは
ピクンッ
さっきなんか変な声
聞こえんかったかー？
いやー
気が付かんかったけどー
なんじゃろーなぁ


ミシ
ミシ
ミシ
ミシ
あそこに新しくできた店
行ってみようぜ〜



それとも
中華にするかー？
それもいいなー


スッ



また来てちょうだいね
あ
どうもー
どうも
おじゃましましたー
じゃあ
行ってくるッ
ええ
いってらっしゃい
ピシャッ
んーっ
さてと

留守中の娘

母に恋して

ちゅ。
んんっ
ちゅ。
ちゅぱっ
んっ
んっ
ぐっ
ヴィーッ
ぢゅぱっ
んっ…

親の留守中に自宅に男性を招いてこっそり……なんてことも若い娘の間ではままあることなんでしょうか
もうちょいこっち見ながらお願い
おお
ちゅぷっ
ちゅぱっ
ちゅっちゅっ
コプッ
レロレロ
にち
そうそう
ああ
いいよ母さん
おーカワイー

わたしのような年齢であっても
親に内緒でこのような行為をするのは
ドキドキするものですね
そっダメ
母さん
べちょべちょじゃん
だってぇ
サトシがそんなに
舐めるからでしょッ
もぉやんっ
この場合別の要因によるところも
大きいのですが…
ピチャ
ピチャ
うおっスゲェ

つい先程まで両親と家族団らんの時間を過ごしていたんです

せっかく来てもろうたのに悪いねぇすぐ戻るけぇな

適当にやっとるけぇゆっくりしてきて

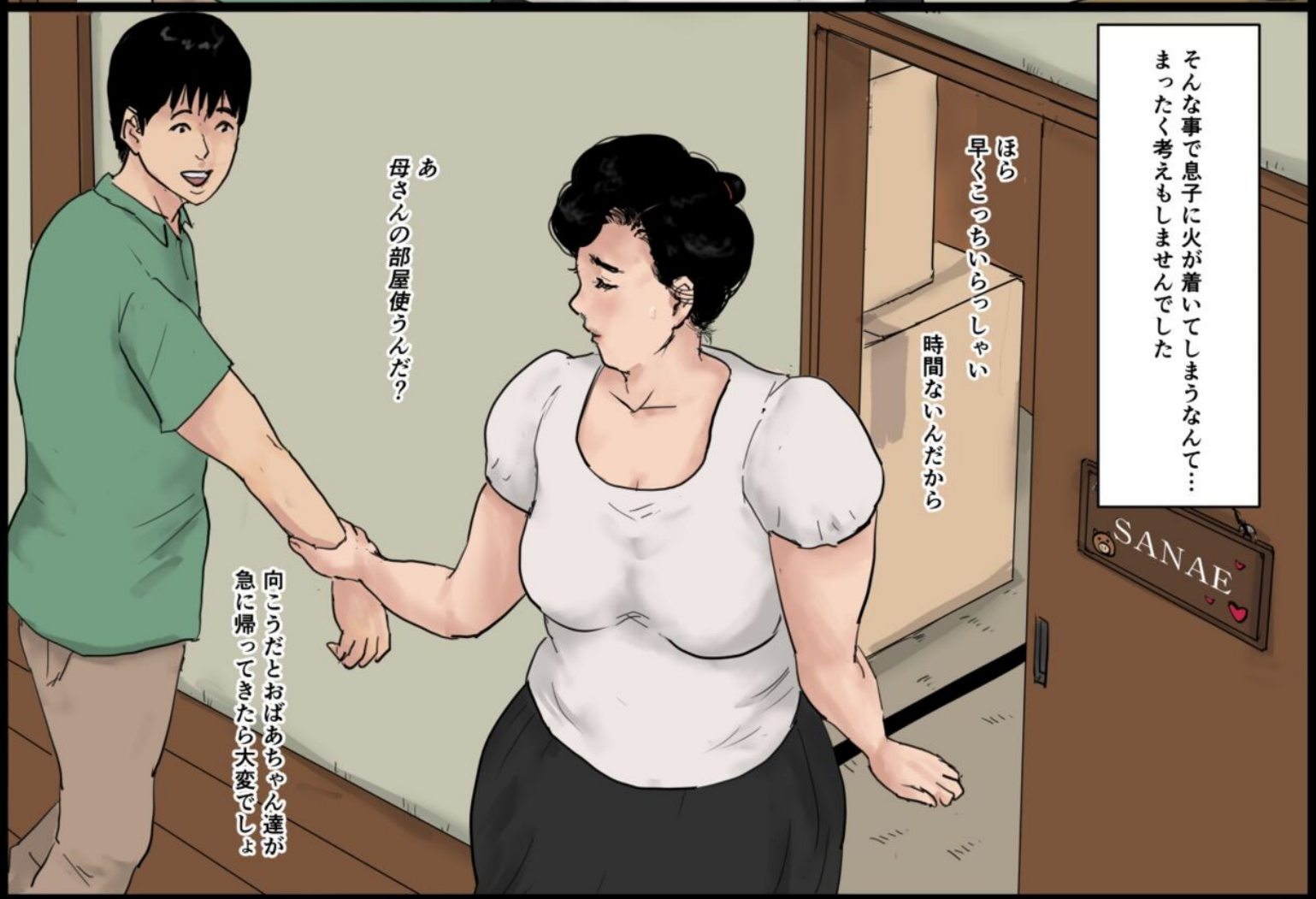
わたしらのことは気にせんでええよ

ほいじゃあ頼んだよ

カラ カラ カラ

ピシャッ

母さん♥
なにしてんの
ここじゃだめでしょッ
ちょっとぉ
おばあちゃん達に
娘扱いされてる母さん見てたら
なんか興奮しちゃって…
おばあちゃん達と話してるときも
ずっとビンビンでさぁ
えーっ
なんなのよー
それ…


そんな事で息子に火が着いてしまうなんて…
まったく考えもしませんでした
ほら
早くこっちいらっしゃい
時間ないんだから
あ
母さんの部屋使うんだ？
向こうだとおばあちゃん達が
急に帰ってきたら大変でしょ
SANAE

パ
パ
パ

ってか
昔マジで男連れ込んで
ヤリまくってたんじゃないの？
んーっ
ギッ
ズイッ
してないわよッ
そんなことぉ
ギッ
ズイッ
はっ
へぇ～
こんなスケベなのに？
よく我慢できたなぁ
ふっ
その頃は
違ったのよッ
ぎちっ
はっ
はっ
ギッ
ズイッ
ビクッ
サトシいいッ
だめぇッ
んーッ
んッ
ィッ
ィッ
ィッ
ギクッ

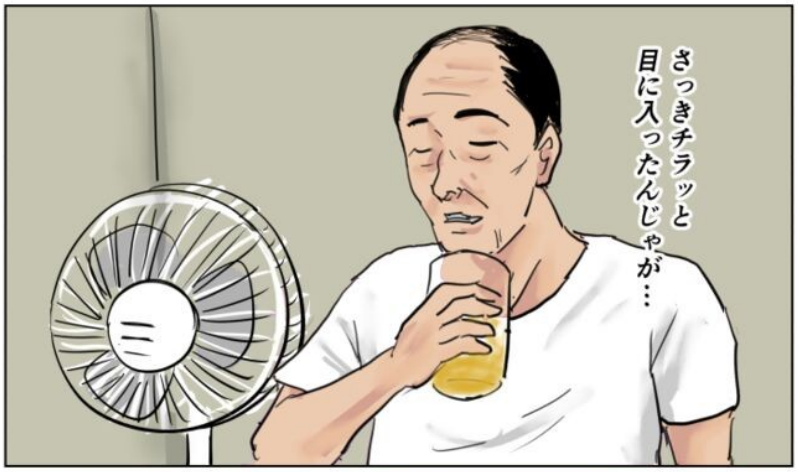
おばあちゃん達帰ってきたら
あいさつしちゃおうかなッ
「早苗さんとは良いお付き合いを
させてもらってます」って
お母さんがサトシのことを
彼氏として紹介するの？
うふふっ
お父さんお母さんごめんね…
わたしらまたいけん事してしもうとるんよ
はっ
はっ
はんっ
ぎゅ
はっ
ぎゅっ
はっ
はっ
ギチッ
ギチッ
ギチッ
ギチッ
イイよイイよ
おおっ

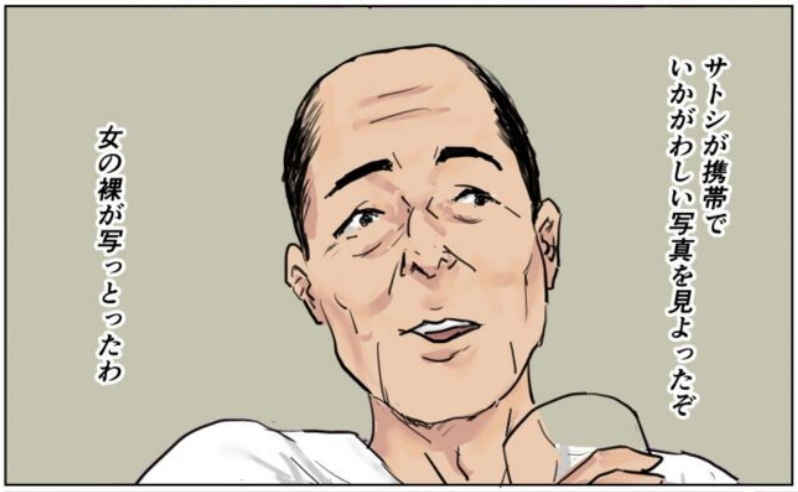
おじいちゃんおばあちゃん
ごめんなッ
娘さんのおまんこ使わせてもらってるよッ
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ
スゴイわぁ
サトシぃッ
わたしらこんなんで興奮して
気持ちようなってしもうて

ズイッ
ズイッ
ズイッ
ズイッ
サトシぃッ
お母さん
もうダメだわぁ
サトシはお母さんの彼氏
なんでしょ？
彼氏なんだったら
一緒にイッてくれるわよね？
一緒によッ
一緒にだからね
はっ
ふっ
はっ
はっ
はっ
ふっ
うんッ
一緒にイこうッ
早苗ちゃん
おっ
おっ

ビクンッ
ビクビクビクビク
おはんっ♥
おぉっ
おっ♥
おうっ
サトシくんッ
お母さんイッちゃうね
おっ
イッ
イッ
グッ
もっ
おっ
サトシくぅんッ
もぉっ
グッ
もうだめッ
おっ
お母さんもうだめになっちゃうっ
おっ
おっ
はっ
早苗ちゃんッ
オレもッオレもッ
おっ
早苗ちゃんッ
一緒にッ
おっ
おおぉっ
早苗ぇぇッ
ブビュッビュルルルッ

はぁ
はぁ
すてきだったよ
サトシくん…
はーっ
はぁ
早苗ちゃんも
すっげぇ可愛かった…
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ


さっきチラッと
目に入ったんじゃが…


サトシが携帯で
いかがわしい写真を見よったぞ
女の裸が写っとったわ

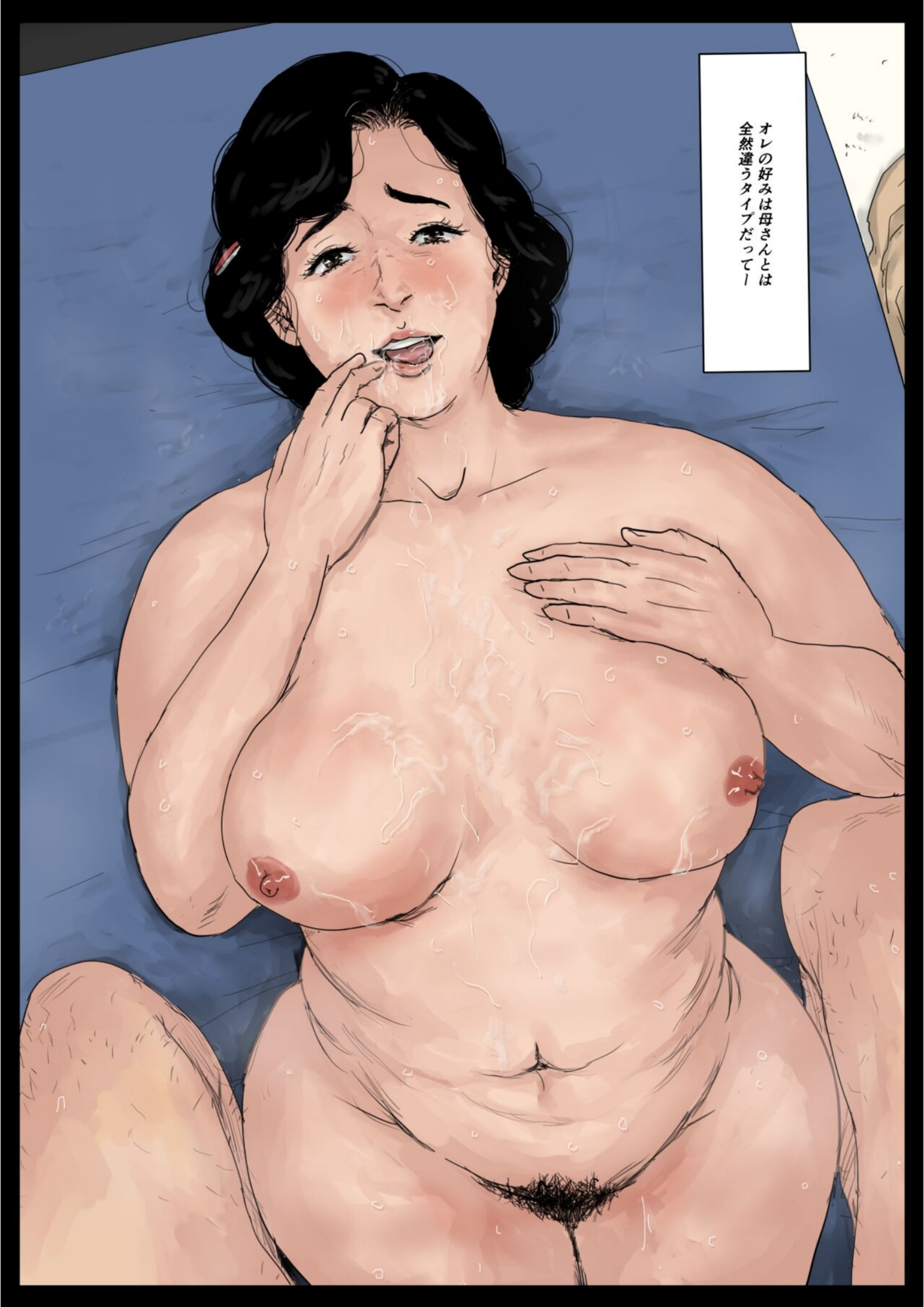
……
ズ…
あの肉付きは
結構な年増だでぇ

サトシはそがいな女の趣味
しとったんじゃのぉ
お父さん
早苗の前で
何言いよるの

サトシも男の子じゃけえな
そがいなこともあるわよ
ひょっとしたら
その写真って……

ふーっ
おーサトシ
サトシの女の趣味は
どがいなんじゃろうか
って話しよったんじゃ
え…？
男の子はお母さんみたいな女の人を
好きになる言うけぇのぉ
案外早苗みたいなタイプが
ええのかね？
え…いやぁ
そりゃまぁそう…
そ…そんなの嫌よねー
ねぇサトシ？

…あ…そ…そうそう
勘弁してよーおばあちゃん


オレの好みは母さんとは
全然違うタイプだってー

終

シリーズ既刊本

（リメイク版）母に恋して　全４巻

母に恋して　特別編
ー我が家の休暇の過ごし方ー

母に恋して　特別編２
ー都会の息子を訪ねてー